

CASBEE神戸ver.2 須磨消防署新築工事		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD_1				
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								3.7
Q1 室内環境								3.6
1 音環境				3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音				4.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		建具の遮音性能はT-2を確保		5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		Dr-40		4.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		天井:ロックウール化粧吸音板、床:タイルカーペット		4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境				3.1	0.35	-	-	3.1
2.1 室温制御				3.2	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		窓:Low-E複層ガラス+ブラインド、外壁断熱材		4.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.6	0.25	-	-	3.6
3.1 昼光利用				4.2	0.30	-	-	
1 昼光率		横連窓による昼光率の確保		5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		ブラインド+庇の設置		4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-	
4 空気環境				4.4	0.25	-	-	4.4
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		建築材料はF☆☆☆☆を基本とする		5.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.6	0.30	-	-	
1 換気量		一人当たり30m ³ /h以上確保		4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		窓が開閉可能な居室で有効開口面積を床面積の1/30以上確保		4.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	4.0
1 機能性				4.2	0.40	-	-	4.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1人当たりの執務スペース:7.50m ²		4.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている		4.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		事務室の天井高:2.70m、横連窓の設置		4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		休憩室+ミニキッチンを設置		5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		各エリアに合わせた内装計画とした		4.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		汚れにくい材料を採用		5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用具室に洗い場を設置		5.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				4.4	0.30	-	-	4.4
2.1 耐震・免震				5.0	0.50	-	-	
1 耐震性				-	-	-	-	
2 免震・制振性能		免震構造としている		5.0	1.00	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		補助資料の耐用年数一覧表参照		4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数20年以上(仕上表・耐用年数一覧表参照)		5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			4.4	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備	換気・空調設備の重要度に応じて系統を区分している	4.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用	5.0	0.20	-	-	-
3	電気設備	非常電源・無停電電源の設置	5.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備	光ケーブルの採用、精密機器の地上階設置	5.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	-
1	階高のゆとり	事務室階高:4.0m	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.24	4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		圧迫感の軽減、敷地内の緑化により景観形成に配慮	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域住民が利用できる研修室を設置	4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		ハイサイドライト、換気システムの採用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.84 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.0	1.00	-	-	-
		集合住宅の評価(3c)	-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	-	-
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	-
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	-
		集合住宅の評価	-	-	-	-	-
		4.1 モニタリング	3.0	-	-	-	-
		4.2 運用管理体制	3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	-
1		雨水利用システム導入の有無	4.0	0.70	-	-	-
2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			4.1	0.60	-	-	4.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメントを地下・基礎部に使用	5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		タイルカーペット、ビニル床シート、ウッドデッキ(人工木材)	5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能、再利用できるユニット部材の利用	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		塗料・接着剤・シーリング材に有害物質を含まない製品を使用	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	-
1		消火剤	-	-	-	-	-
2		発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	-
3		冷媒	3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が50%以下	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25	-	-	-
1		雨水排水負荷低減	-	-	-	-	-
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	-
3		交通負荷抑制	4.0	0.33	-	-	-
4		廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1		騒音	3.0	1.00	-	-	-
2		振動	-	-	-	-	-
3		悪臭	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.3	0.40	-	-	-
1		風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-
2		砂塵の抑制	3.0	-	-	-	-
3		日照障害の抑制	4.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		日影規制に対して1ランク上の基準を満たしている	1.6	0.20	-	-	-
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	1.0	0.70	-	-	-
2		昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-